

ICT活用による小中連携と大学との相互連携

キーワード：小中一貫教育 ICTの活用 21世紀型学力 大学との連携

北海道教育大学（本学）では、第3期中期目標として、北海道の公立学校教員の授業力向上に寄与することを目指して、4地域の附属学校（旭川・釧路・函館・札幌）それぞれにおいて、小中一貫事業に取り組んでいる。函館地区では、昨年度までは「アクティブ・ラーニング」をキーワードに小中一貫の取組を研究ベースで行ってきた。また、大学教授と連携した取組により教育活動の質的な向上に努めている。

① ICTを活用した授業実践と中学校との連携

昨年度末から、小・中学校の研究担当者が「21世紀型学力を育むためのICT活用」を9年間の教育課程で例示できるように、継続的に取り組んできた。中でも算数・数学科を中核にして相互の授業参観等を行った。算数科の実践では大学教授の支援を受けたICTを活用した教育環境構成や指導記録の分析に取り組んだ。それらの研究成果を平成30年2月16日の「授業力向上セミナー」において、小・中学校合同で発信する予定である。



② 大学と連携した体力向上の取組

今年度から北海道教育大学岩見沢校の教授と連携し、3年生以上の体力調査を実施している。新体力テストを学生の協力を得て効率的に実施するとともに、生活習慣や学力との相互関係についての調査に協力している。それに併せて本校においても今年度から週に一度40分間の昼休みを設定し、集団遊びを行うことにより体力向上を目指している。このことは多様な体験により人間関係を学ぶ機会ともなることから、いじめ問題の未然防止にもつながることも期待できる。



学校概要

12学級（1学級35名）
教職員27名

学校教育目標

強い意思と健康な体
で活動する子

明るい心と優しい気持ち
で協力する子

よい考えと正しい判断で
努力する子

重点教育目標

学ぶ楽しさや、やり遂げた喜びを実感する子供を目指して

特色ある教育活動

本校のスポーツ祭（運動会）は前年度の秋から準備が進められます。自分たちでテーマや種目を考え、縦割り4チームがダンス（パフォーマンス）をチームリーダーが中心となって創り上げていきます。その過程で自主性や主体性、協調性や課題解決能力がはぐくまれます。そうした成長が授業における「深い学び」にも発揮され、本校の研究活動の充実につながっています。



041-0806 函館市美原3-48-6 TEL 0138-46-2235 fax 0138-47-7376

E-mail : hak-fusho@h.hokkyodai.ac.jp （担当者）副校長 主幹教諭